

資 料

## 筑波大学農林技術センター演習林気象報告

### 一様式の変更とウェブ上でのデータの公開について一

今泉 文寿

筑波大学農林技術センター演習林部門では1960年代より気象観測を行っており、観測データの一部を1986年（演習林報告第2号）から「気象報告」として演習林報告に掲載してきた。しかしこれまで記載様式が演習林ごとで異なっていたため、本号より演習林全体で様式を統一することにした。また、後述するように演習林ではウェブ上でのデジタルデータの公開を始めており、利用者側がコンピュータで簡単に観測値の集計を行えるようになった。そこでこれまで気象報告に掲載してきた一部の集計値を削除した。主な変更点は以下のとおりである。

○欠測データがみられる場合の表記方法を以下のように統一した。

- ・日平均は、20%以上記録が欠けている場合を欠測とし、「-」の記号を記入
- ・月別集計値は、欠測期間が20%を超える場合について数字を括弧で囲う。

○これまで掲載してきた各月の上旬・中旬・下旬それぞれの集計値、および毎日の最高気温・最低気温の平均値の記載を削除した。

○これまで行っていた各項目の月別極値の強調をとりやめた。

また演習林部門では気象観測データの教育・研究への幅広い利用を目指し、これまでの観測データのウェブ上での公開を昨年度より開始した。ウェブサイトのアドレスは下記のとおりである。

<http://www.sakura.cc.tsukuba.ac.jp/~enshurin/kishou/index.html>

現在公開中のデータは「気象月報」（アクセス制限なし）と「気象データベース」（アクセス制限あり）の2種類に分かれる。気象月報はこれまで演習林報告で公表してきたデータと同様、日単位での各項目の集計値をまとめたものである。一方、気象データベースではこれまで演習林報告で公開してこなかった地点や項目のデータを含めたすべてのデータについて、実際に観測を行った記録間隔（通常1～3時間）でデータを公開している。過去のデータの多くは紙媒体として保存されておりデジタル化されていないため、未だ過去のすべての観測データの公開には至っていない。今後データのデジタル化及び公開作業を逐次進めていく予定である。

尚、気象データベースにアクセスするためにはユーザー名・パスワードが必要であるため、以下の連絡先に問い合わせてください。

ikawa@bridge.ocn.ne.jp